

平成29年第4回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

日 時：平成29年5月16日(火)
午前10時00分～午前11時34分

場 所：国見町立国見小学校

調査内容：学校教育課所管事務調査 国見小学校視察
(1) 学校概要説明
(2) 3校時授業参観

出席者：総務文教常任委員

説明者：国見小学校 阿部雅好 校長

国見町議会

松 浦 常 雄 委員長	2
浅 野 富 男 副委員長	3
東 海 林 一 樹 委員	4
八 島 博 正 委員	5
佐 藤 定 男 委員	6
松 浦 和 子 委員	7

平成29年第4回総務文教常任委員会 学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月16日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦常雄

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

(1) 学校経営の概要説明

(2) 3校時授業参観

(1) 学校経営の概要

平成29年度「学校要覧」を基に、学校経営の概要について校長が説明。

① 教職員数、児童数、学級数等について

教職員数25名、学級数18（特別支援学級数3学級（14名）

児童数391名 ※スクールバス通学児童134名、実家庭数293

② 教育目標の理念「知徳体の調和のとれた主体性のある児童の育成」

③ 教育目標

「よく考える子ども(知)、心やさしい子ども(徳)、元気で明るい子ども(体)」

④ 目指す学校の姿（教育スローガン）

「楽しい学校」「温かい学校」「健康・安全な学校」「美しい学校」「地域の学校」

⑤ 今年度の重点目標とめざす児童の姿

(2) 授業参観（3校時）

【調査の結果】（感想）

①校長の学校経営概要の説明から、知・徳・体の調和のとれた児童の育成をめざし、きめ細かな指導が行われていることが理解できた。

②国見小学校は、校庭の暗渠工事が行われ、水はげが大変よくなった。また、良質な砂が敷かれ、運動しやすい校庭になった。パソコンも1人1台設置され、教育環境がよく整備されている。

③子どもたちは落ち着いて生き生きと学習に取り組んでいた。

④コミュニティスクールの組織を生かし、地域の人々の教育力を学校教育に生かしている。

昨年度は、延べ400人の学校ボランティアの協力があったという。（登録者約140人）

⑤今後教育課程の改訂により、平成31年度から5・6年生は英語が必修となるので、英語教育に一層力を入れていく方針であるという。（5・6年生の英語年間70時間、3・4年生は国際交流として35時間）

以上

平成29年第4回総務文教常任委員会 学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月22日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

(1) 学校経営の概要説明

(2) 3校時授業参観

総務文教常任委員会は所管事務調査として、国見小学校を訪ね平成29年度の学校経営・運営方針について調査を行った。

学校経営の概要は、教職員数25名で中学校との兼務での地域連携担当の職員が1名含まれている。学級数は、14名が学んでいる特別支援学級3学級を含めて18学級となっている。児童数は391名であるが統合当初と比べると約60名の減少となるのではないかと。

教育目標の基本理念では、豊かな自然文化、暖かな人とのつながりの中で、ふるさと国見町を愛し、21世紀をたくましく生き抜く、知徳体の調和のとれた主体性のある児童を育成する。よく考える子ども(知)、心やさしい子ども(徳)、元気で明るい子ども(体)はこの基本理念を具体例として掲げている。また、めざす教師像として、児童と共に学び高め合うこと、児童の良さを見つけ伸ばすこと、特別支援教育の理念を理解し実現しようとする、高い倫理観を持って児童、保護者、地域から信頼されることを挙げている。学校は地域と共にあるという基調での説明であった。

授業参観では、運動会の練習中という学級もあったが、授業の内容がつぶさにわかる資料を作成してもらい、短時間でしか観ることのできない中で大いに参考になり感謝したい。

【感想】

成長期にある子どもたちを育成するうえで、知、徳、体が総合的に育まれることは最も重要視すべきものと思う。国見小ではこうした事について総合的に支援し、それぞれの発達に配慮した方針となっていることにその努力を感じさせられる。特別支援学級が3学級もあることは現場を見て初めて知った。私たちが教育を受けた時代とは全く違う体制が組まれていることに時代の流れを感じる。

社会は一人一人の個性のもとで成り立っている。その個性が認められること、そしてそれぞれの個性が共生できるという事を学び、理解できる社会人に育ててくれることを願いたい。

以上

平成29年第4回総務文教常任委員会
学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月23日

国見町議会議長 東海林一樹

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

- (1) 学校経営の概要説明
- (2) 3校時授業参観

小学校に着いたとき、児童たちは5月20日に行われる運動会の練習で校庭におり、子どもたちが大勢いるのを見るだけで我々の心は和むものだ。

10時から校長室で小学校の経営・運営ビジョンを基に校長先生から説明を受け、20日に行われる運動会には今回初めてとなる大人の人たちと一緒に国見音頭を踊ることと、子どもたちが日ごろ練習してきた一輪車でデモンストレーションを行うのでぜひ見ていただきたいとのことだった。

その後、校長先生の案内で授業参観をし、子どもたちの授業態度を観察し、委員会の学校視察は終了した。

以上

平成29年第4回総務文教常任委員会 学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月22日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

- (1) 学校経営の概要説明
- (2) 3校時授業参観

(1) 学校経営の概要

阿部校長より学校経営の概要および平成29年度国見小学校学校経営・運営ビジョンについて説明があった。

(2) 3校時授業参観

1～2年生は校庭で運動会の練習があった。3～6年生は教室においての授業で、各クラスごとに全部参観してきた。

【感想】

- 運動場は水はけの工事が終わり、すばらしい校庭になっていた。
- 各教室は、子どもたちの全員の写真を飾るなど、子どもたち全員に個人差を無くす努力が見られた。
- ボランティア活動について、年間400人の人たちが学校支援ボランティアとして参加しているとのこと。今後の活動と成果が期待される。

以上

平成29年第4回総務文教常任委員会 学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月22日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 佐藤定男

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

- (1) 学校経営の概要説明
- (2) 3校時授業参観

1. 学校概要

- 教職員数は25人、他に町雇用職員として英語特別講師1人・用務員1人・学校司書1人・支援人4人・給食配膳人2人である。
- 学級数は18 *特別支援学級3学級(14人)
- 児童数293人

2. 教育目標

- よく考える子ども(知)
 - ・言語活動の充実と基本的な知識・技能を身につける。また判断力・表現力を養う。
- 心やさしい子ども(徳)
 - ・いつでも、だれにでも気持ちのよいあいさつができるようにする。
- 元気で明るい子ども(体)
 - ・運動に親しみ、日常化を目指した体力向上に取り組む。

3. 授業参観

- 3年生から6年生の授業を参観した。(3校時目)
 - ・みんな真剣な表情で授業を受けていた。
 - ・教室の掲示板には図工の作品が展示されており、発想の豊かさに感心した。

【感想】

- 統合して国見小学校となり、色んな面で着実に成果が表れていると感じる。
- コミュニティスクールとして地域の人と一緒に様々な活動がなされ、校長をはじめ関係者に対し深く敬意を表します。

以上

平成29年第4回総務文教常任委員会
学校教育課所管事務調査報告書

平成29年5月22日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦和子

【調査内容】 学校教育課所管事務調査 国見小学校視察

(1) 学校経営の概要説明 (2) 3校時授業参観

(1) 平成29年度学校経営の概要・平成29年度国見小学校学校経営・運営ビジョンについて説明

・教職員数25名 町雇用職員9名 町雇用職員として、今年度より月・木・金に学校司書1名が配属 学級数18

※特別支援学級3学級(14名) 児童数391名 実家庭数 293

・教育目標の基本理念

「豊かな自然と伝統文化、温かな人とのつながりの中で、ふるさと国見町を愛し、21世紀をたくましく行き抜く、知徳体の調和のとれた主体性のある児童を育成する。」

・教育目標 ○よく考える子ども ○心やさしい子ども ○元気で明るい子ども

以上についての説明を受け、さらに「平成29年度国見小学校学校経営・運営ビジョン」の資料から詳細な説明を受けた。

(2) 3校時授業参観

1、2年生は校庭で体育の授業、3年生から6年生は各教室での授業を見学。

【感想】

運動会を土曜日に控え、練習真っ盛りの児童の元気な声に迎えていただいた。

阿部雅好校長先生より「平成29年度学校経営の概要、平成29年度国見小学校学校経営・運営ビジョン」について詳しく、丁寧な説明をいただいた。「知徳体の調和のとれた主体性のある児童の育成」という目標は豊かな人間性と、やがて自立していく子どもたちに学校での集団生活を通して、人として大切なことをしっかりご指導いただいていることを強く感じた。国見町の幼・小・中学校の子どもたちのしっかりした挨拶は先生方の連携と、教育目標の実行にあると認識した。ある著名人女性の講演会で、「挨拶がすべてのスタートである。」というお話しをお聞きした。しっかりした挨拶は、国見町の幼・小・中一貫教育が素晴らしい効果をあげていることの表れであると思う。授業参観では、各学級とも、欠席児童が少ないとまず思った。各学級の目標や取組みに児童の考えを入れ、自主性を尊重していること、教室が明るいこと、特に自分達の考えで進めて行く授業は目が輝き、教師もダメ出しせず考えを引き出し認めていく。何気ないそうということが児童の積極性と自信に繋がって行くのだろうと思う。

昨年度、町の補助事業でタブレット端末150台を導入、5、6年生を対象にさらに充実した指導が期待されている。また、めざす教師像から、児童への愛情と家庭・地域との信頼関係をつくることへの取組みにご努力いただいていることに感謝いたします。

校長先生をリーダーとした先生方の教育への姿勢が、140名という多くの学校支援ボランティア、地域の皆様から応援いただいている何よりの証であると強く印象を受けた研修だった。

以上